

■混雑対策の取り組み

当支社では、本渋滞予測及び過去の渋滞状況を踏まえて、トンネル入口部での速度低下注意喚起、渋滞末尾への追突注意喚起、休憩施設での駐車場整理員の配置、特設トイレの設置、大型車駐車マスの確保などの混雑対策を行う予定です。

項目	主な対策
本線部	①トンネル入口部での速度低下注意喚起 3箇所
	②渋滞末尾への追突注意喚起 渋滞発生時
SA・PA	③休憩施設での駐車場整理員の配置 19箇所 延べ691人
	④特設トイレの設置 6箇所
	⑤大型駐車マスの確保 19箇所

【トンネル入口部での速度低下注意喚起】



【渋滞末尾への追突注意喚起】



【休憩施設での駐車場整理員の配置】



【特設トイレの設置】



【大型車駐車ますの確保】



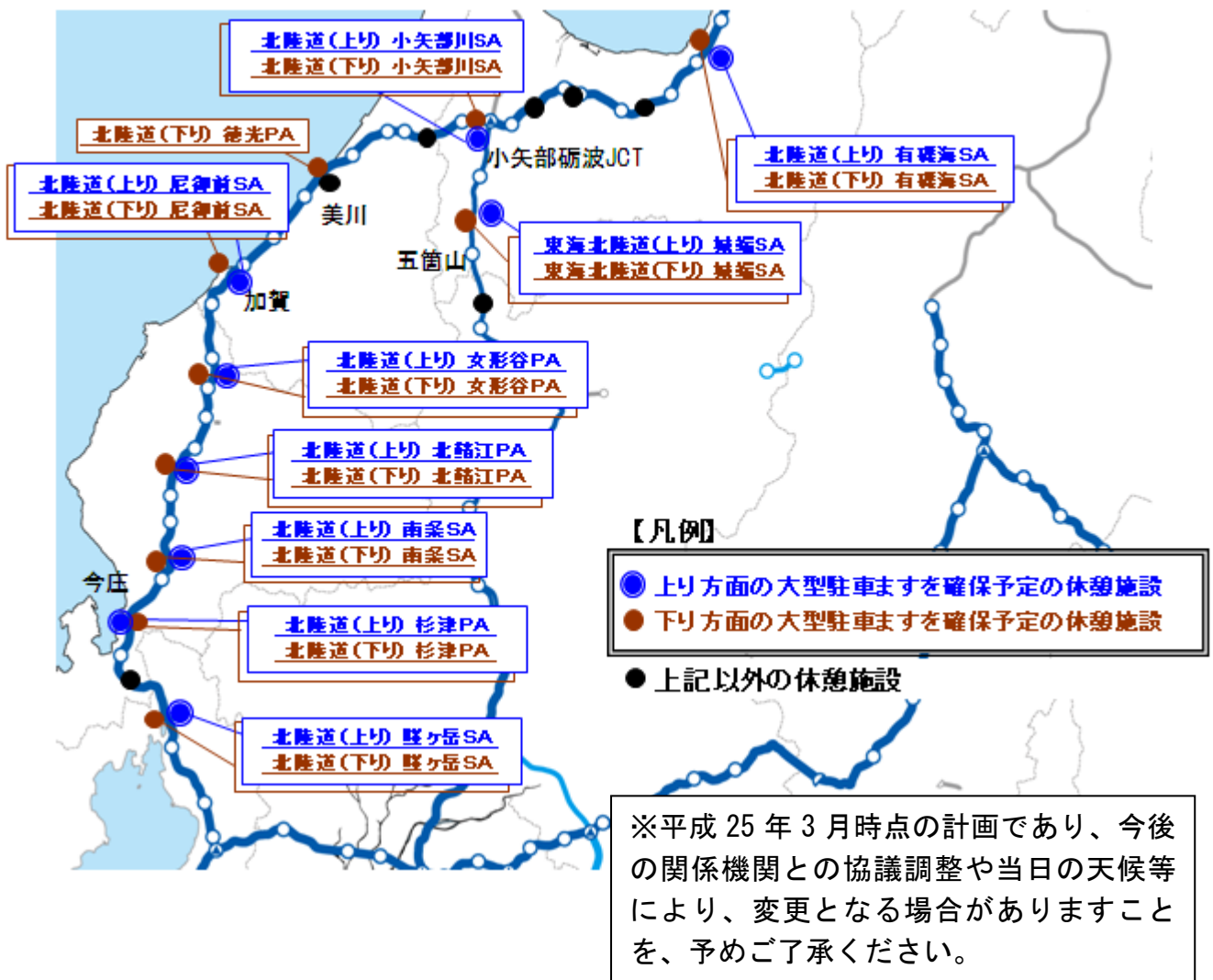
【お招きの心でおもてなし】

〔日除けや椅子の設置など〕



■混雑が予想される主な休憩施設

駐車場の混雑が予想される休憩施設を下記図で示していますので、快適なご旅行にお役立てください。



■渋滞（予測）情報の提供

渋滞情報をインターネットなど各種の媒体を通じて提供しており、旅行計画段階、旅行の出発前、走行中、休憩中など、いつでもどこからでも情報を入手できます。

① i Highway 中日本（アイハイウェイ中日本）

全国の高速道路交通情報を携帯電話のウェブサイトを利用して、マップや文字でご確認いただけます。また、通行止めが発生又は解除した際にメールでお知らせする「マイルート機能」などをご利用いただけます。

なお、自動車運転中のドライバーの携帯電話の使用は法律で禁止されています。ご利用の際はSA・PAにてお願いします。



[<http://c-ihighway.jp/>]



② ハイウェイテレホン（電話番号は下記一覧をご覧ください。）

携帯電話から「#8162 [はい、無事(帰る)]」におかけいただくと、その場所から最も近い地域の高速道路情報が音声で入手できます。

北陸地区情報	敦賀局	0770(21)1620
	福井局	0776(57)1620
	金沢局	076(253)1620
	富山局	076(476)1620
	上越局	025(535)1620
	湯沢局	025(784)1620
	新潟局	025(370)1620

※音声によるハイウェイテレホンと合わせ携帯電話のWEBサイトでご確認いただける、「目で見えるハイウェイテレホン」もご活用ください。

・東海及び北陸地域の高速道路情報

[<http://highway-telephone.com/>]



■お客さまへの安全走行等のお願い

高速道路を安全で快適にご利用していただくために、お客さまに次のことをお願いしています。

1) 万一、事故や故障が起こった場合、安全な場所にすみやかに避難を

高速道路上で人がはねられる事故が増えています。

交通事故や故障により停止した場合、道路上にとどまることは非常に危険です。

ハザードランプや三角停止表示板、発炎筒などで後続車に危険を知らせたら、通行車両に十分注意し、すみやかにガードレールの外など安全な場所に避難してください。

また、非常電話等による通報もお願いします。

2) 走行中の故障トラブルを防ぐため、お出かけ前に車の点検をお願いします

高速道路上での故障トラブルは、事故や渋滞の原因となります。故障トラブルの大半が、出発前の基本的な車両点検で防げるものです。燃料、タイヤ、オイル、冷却水等の点検を忘れずをお願いします。

3) シートベルト・チャイルドシートを着用しましょう

シートベルトは命綱、事故時における車外放出の防止や身体への衝撃を和らげてくれます。

2008年6月からは、後部座席においてもシートベルトの着用が義務化されています。車に乗車したら、まずシートベルトの着用をお願いします。

4) ETCカードは確実に挿入しましょう

ETCカードの挿し忘れや不完全な挿入の状態でのご利用は、開閉バーの未作動の原因となり、非常に危険な状態となります。確実に車載器へETCカードを挿入したことを確認してご利用ください。

また、ETCカードにはクレジットカードと同様に有効期限があります。有効期限切れのETCカードでは開閉バーが開きませんのでご注意ください。

5) ETCレーンは、十分に速度を落として通行しましょう

ETCレーンには、前の車と十分な車間距離をとった上で、時速20km以下に減速して進入し、ETCレーン内は徐行の上、安全に停止することができるような速度で、開閉バーが開いたことを確認してご通行ください。

6) 渋滞発生時の追突事故に注意しましょう

渋滞発生時には、渋滞の車列の中や渋滞の末尾での追突事故が発生しやすくなります。

安全速度の順守と適正な車間距離を確保し、渋滞に遭ったらハザードランプで後続車に合図するなど、追突事故の防止に心掛けてください。

7) 疲れる前に休憩を取って安全運転を

夜間運転や長時間運転は思った以上に疲れます。

サービスエリアなどでこまめに休憩をとり、安全運転を心掛けてください。

また、サービスエリアなどから高速道路本線に戻る際に進行方向を間違え、逆走事故に至るケースが発生していますので、方向標識や路面標示を確認してから走行しましょう。

8) 給油やトイレはお早目に

最新の道路情報入手し、渋滞区間の手前にあるサービスエリアなどで給油やトイレを済ませましょう。

9) 道路の異状は道路緊急ダイヤル『#9910』で通報を

車両の通行に支障となる道路の穴ぼこや落下物、故障車などを発見したら、道路緊急ダイヤル「#9910」による通報をお願いします。

※道路交通法により運転中の携帯電話の使用は禁止されていますので、サービスエリア等で車を停めてから通報してください。

10) 緊急地震速報が発令されたら

緊急地震速報が発令されてから、強い揺れが来るまで数秒から数十秒の時間があります。

高速道路上やサービスエリアなどで緊急地震速報を受信したときは、身を守るために以下のような行動をお願いします。

○自動車運転中にカーラジオ等で受信した場合は…

- ・あわててスピードを落とさない
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す
- ・急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす
- ・大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止

○休憩施設では…

- ・落ちついて行動
- ・あわてて出口に走り出さない

11) 渋滞を緩和するためのお客さまへのお願い

お客さまのちょっとした心がけで、渋滞を緩和し快適なドライブにつながりますので、以下のような運転をお願いします。

○速度を低下させない

- ・上り坂に差し掛かると、気が付かないうちに速度が低下し、車間距離が縮まるため、後続車が次々とブレーキを踏んで、渋滞が発生します。上り坂では、速度を低下させないように注意しましょう。



○車間距離をつめ過ぎない

- ・車間距離をつめ過ぎると、前の車の速度低下で後続車が次々とブレーキを踏んで渋滞が発生します。余計なブレーキを踏まないように十分な車間距離をとって走行しましょう。



○追越車線に集中しない

- ・混雑してくると、少しでも早く走ろうと追越車線に車が集中します。その影響で上り坂やサグに差し掛かると、追越車線から渋滞が発生しやすくなります。

また渋滞中における必要以上の車線変更は更なる渋滞の悪化を招きます。

